

ダイバーシティ推進委員会企画記事 「子育てパパ会計士の日常」第9回 新しいパパの教科書

ダイバーシティ推進委員会 副委員長 竹中 陽介

皆様、突然ですが、「イクメン」という言葉をご存じでしょうか。「イクメン」とは、「子育てに積極的に関与する男性」を指す俗語なのですが、2010年の流行語大賞にノミネートされたこともあり、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。

ニュースなどでもよく話題になった「イクメン」ですが、当時これがよく取り上げられていた理由は、単純に「男による育児が珍しかったから」。改正育児・介護休業法の施行等により制度設計は進みだしていたものの、当時の男性による育児取得率は1.38%（厚生労働省調べ）と非常に低いものでした。

あれから10年経った今では、男性の育児取得希望者も増えてきており、「父親による子育ては当たり前!」という時代に入りつつあるのではないのでしょうか。父親のための子育て本やセミナーなども多く出版・開催されており、父親による子育てのハードルも下がってきているように思います。

今回ご紹介させていただく「新しいパパの教科書」も、そんな新米パパの味方となること間違いなしの書籍です。著者はNPO法人ファザリ

ング・ジャパンで、「Fathering = 父親であることを楽しむ生き方」を提唱されており、パパが子育てに関わることの大切さについて訴えられています。

主な読者対象は「これからパパになる人（プレパパ）、および3歳くらいまでのお子さんがあるパパ」となり、以下の全6章構成となっています。

- 第1章 パパ育児のススメ
- 第2章 パートナースhip
- 第3章 パパのための子育て基礎知識
- 第4章 育児・家事のパパテクニック
- 第5章 パパとしてのワーク・ライフ・バランス
- 第6章 “イクメン” から “イクメン” へ

各章のタイトルを見て頂いてもわかるとおり、パパ育児に関する幅広いトピックについて取り上げられています。また、各章の合間や欄外に、ファザリング・ジャパンメンバーによる体験談や講師陣による特別講座、パパのあるあるQ&Aやパパ192人を対象としたアンケート結果

等、非常に興味深いオマケも充実した一冊となっています。

今回は、私がこの書籍を読んでみて、特に面白かったものや、ためになった内容について、少しだけ紹介させて頂きたいと思います。

（第4章「おむつ替えから始めよう」より）

たまに、「おしっこのおむつ替えはするけど、うんちはダメでママにお願いする」というパパがいます。それはまるで、「内線の電話は取れるけど、外線は怖くて取れない」という困った新入社員のようで、いただけません。

これ面白いですよ。例えが適切。同じパパとして、うんち替えが嫌な気持ちはとてもよくわかるのですが、私も妻に「ダメ社員」のレッテルを貼られないよう奮闘したものです。

（特別講座「お風呂にまつわるエトセトラ」より）

（前略）Xデーとは、娘から「パパとはもうお風呂に入らない!」と告げられる日のこと。私たちの定説では小学三年生の夏休みに発

生するといわれ、ファザーリング・ジャパンではその日を迎えたパパがいたら、飲み連れ出して慰めることになっています。

これはとても素敵な取り組みだと感じました。この本ではパパ友の重要性についても多く説かれているのですが、Xデーはパパにしかわからない非常にセンシティブな問題であり、解決方法もパパ同士で慰めあうのが一番。私もあと3年でXデー（予定）を迎えるため、今のうちに頼りになる先輩パパ友を見つけておかねば…（涙目）

（第5章「日本のパパのワーク・ライフ・バランス」より）

今、政府は女性の活躍支援に力を入れており、管理職の女性比率と就業継続率の向上を目標にし、企業に対応を求めています。そして女性が社会で活躍するためには、企業の努力以上に家庭内でのパパの協力が重要です。女性の社会進出の鍵は「パパの家庭進出」にあるからです。

（第5章「育休取得のススメ」より）
パパこそ育休を取るべし！

その理由は第一に、国も母体保護の観点から父親の育児を期待しているからです。（中略）第二に、この期間に父親が育児・家事に携われると、父親としての自覚と子どもへの愛着形成、子どもが生まれた後の新しいパートナーシップの再構築が可能となるからです。（中略）第三に、家庭内の役割の硬直化を防ぐことができます。（中略）（父親が）稼ぎ手役割に加え世話役割を習得し、安定的な家庭運営を図るための大切な研修期間となります。

いずれもパパが育児をすることのメリットについて書かれています。私に子どもが生まれたときは、数日有休を取得しただけだったので、そのときの妻の大変さを思い出すと、多少無理をしてでも育休を取っておけばよかったなあと後悔しきりです。

最後に、これも書籍からの引用となりますが、「子育てに正解はなく、パパのあり方は多様性（ダイバーシティ）があってよい。ただ、正解はないにしても、セオリー（理論）はあるはず」とのことですので、

これからパパになる、もしくは新米パパの皆様は、まずこのような書籍等を参考にパパのセオリーをインプットしていただき、自分なりの方法で楽しんで子育てに取り組んでいただけますと幸いです。

（参考サイト）

・NPO法人ファザーリング・ジャパンHP

<https://fathering.jp/index.html>

・学研出版サイト「新しいパパの教科書」

<https://hon.gakken.jp/book/2380012900>



記事をお読みいただきましたご感想や企画記事のご提案等、何でも結構ですので、コメントをお待ちしております。コメントはこちらから ▶▶▶▶▶



企画案内

ダイバーシティ推進委員会では下記の研修会を企画しています。

研修会テーマ：『夫婦会議』（仮）

日時：2021年9月4日（土）10:00～11:30

会場：日本公認会計士協会近畿会会議室およびMicrosoft Teamsのハイブリッド方式ぜひ、ご参加ください。

※詳細案内は次号8月号に掲載いたします。

